

優秀賞	ネットワーク対応型無人化施工システム
技術開発者	(株)熊谷組 北原 成郎
	
<p style="text-align: center;">受賞にあたって</p>	
<p>建設技術の発展に大きな貢献を認められる表彰を受けることは誠に光栄なことであり、本開発に携わった全ての関係者を代表して深く感謝いたします。これまでの長年の努力が評価されることは、感慨深いものとなりました。災害対応とこの無人化施工技術は国土保全の立場から技術開発に力を入れることが大切であり、継続した努力がもとめられています。個々の企業だけの取り組みだけでは無人化施工技術を開発していくことは困難であり、多くの方のご理解とご支援を頂くことで、少しずつではありますが、発展をしてきました。長年の現場で鍛えられた技術であり、経験が大きな財産となっています。技術を通じて微力ではありますが、災害対応や危険区域など人の立ち入れないフィールドでの建設技術において、社会貢献を果たして行きたいと思えます。</p> <p>また本技術は災害対応を通じて未来の建設技術を生み出す新たな分野を生み出す技術として期待されるものでもあります。今回の受賞により多くの方に、技術の可能性を知っていただくことができることは新たな技術の発展へと繋がる大事な一歩になります。</p> <p>これまでの常識にとらわれない i-Construction を通じた建設分野の生産性向上を果たす一つのコアとなる技術への発展へつなげて行きたいと考えています。</p>	
<p style="text-align: center;">受賞後の動き</p>	
<p>この受賞を新たな糧として建設分野のイノベーションを推進する取り組みを進めていきたいと思えます。遠隔操作技術は建設分野での新たな可能性を開くと同時に、3次元空間の認識技術において注目されつつある技術です。AI や VR、AR の利用拡大やロボット技術活用を拡大するキーテクノロジーと認識し、その開発者として、大きな期待感と責任感を感じております。また、高い志を持ち、本技術の開発を通じて社会貢献を果たしていくために、この分野の技術を多くの方に紹介していき活用していただける努力を進めていきたいと考えています。</p>	

